

学校教育目標	○かしこく ◎やさしく ○つよく	ビジョン	【目指す学校像】	・子供にとって安全・安心の学校 ・保護者や地域とともに子供を育てる学校 ・教職員が互いに高め合う学校
			【目指す児童・生徒像】	・よく考え工夫する児童 ・相手のことを考え、助け合う児童 ・明るく元気な児童
			【目指す教師像】	・質の高い指導を創造できる教師 ・児童同士、教師同士が響き合い、感動とあこがれを創出できる教師 ・児童、保護者、地域に貢献する仕事であることを自覚する教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策		
確かな学力	学校全体として組織的・計画的に、確かな学力を育みます	学習状況を把握し、「主体的・対話的で深い学び」の指導を充実、学力向上を図る。	①「問題解決の型」の徹底 ②「学習スタンダード」の徹底 ③朝学習の週5回実施 ④ICT機器の活用	4 全ての教員が、児童が主体的な授業を行った		4 学力調査市平均+5P以上							
			3 8割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った		3 学力調査市平均0P以上								
			2 7割の教員が、児童が主体的な授業を行った		2 学力調査市平均0P未満								
			1 児童が主体的な授業を行った教員が7割以下であった		1 学力調査市平均-5P未満								
			授業のユニバーサルデザイン化を推進し、学習意欲と学力の向上を図る。	①子どもにやさしい教室環境 ②子どもにやさしい学習環境 ③子どもにやさしい授業 ④本領発揮プログラムの活用	4 ユニバーサルデザインチェックリストの全てに取り組んだ。		4 児童アンケートで「分かりやすい」が9割以上						
				3 ユニバーサルデザインチェックリストの8割以上に取り組んだ。		3 児童アンケートで「分かりやすい」が8割以上							
				2 ユニバーサルデザインチェックリストの7割以上に取り組んだ。		2 児童アンケートで「分かりやすい」が7割以上							
				1 ユニバーサルデザインチェックリストの7割以下にしか取り組めなかった。		1 児童アンケートで「分かりやすい」が7割未満							
			タブレットPCの積極的な活用とキャリア教育の推進	①プログラミング学習に関わる授業(年5回以上) ②キャリア・パスポートに関わる指導(年3回) ③オンライン授業(年3回)	4 全ての教員が、タブレットを用いたオンライン授業を行うことができる。		4 児童アンケートでオンライン授業への肯定的な評価が9割以上						
				3 8割の教員が、タブレットを用いたオンライン授業を行うことができる。		3 児童アンケートでオンライン授業への肯定的な評価が8割以上							
				2 7割の教員が、タブレットを用いたオンライン授業を行うことができる。		2 児童アンケートでオンライン授業への肯定的な評価が7割以上							
				1 6割の教員が、タブレットを用いたオンライン授業を行うことができる。		1 児童アンケートでオンライン授業への肯定的な評価が7割未満							
豊かな心	学校全体として組織的・計画的に、豊かな心を醸成します	児童の自己肯定感を高め、個々の良さを発揮できるように、学級活動を実施する。 教育活動全体を通して、道徳的実践力を身に付けさせる。 学校図書館を活用し、読書の啓発に取り組む。	①校内研究の推進 ②生活スタンダードの徹底 ③QUテストの活用	4 全ての教員が、生活スタンダードやガイドラインに基づく指導を行った		4 QUの結果で安定感のある学級が3割以上							
			3 8割の教員が、生活スタンダードやガイドラインに基づく指導を行った		3 QUの結果で安定感のある学級が2割以上								
			2 7割の教員が、生活スタンダードやガイドラインに基づく指導を行った		2 QUの結果で安定感のある学級が1割以上								
			1 6割の教員が、生活スタンダードやガイドラインに基づく指導を行った		1 QUの結果で安定感のある学級が1割未満								
			①道徳授業地区公開講座 ②評価に関わるOJT研修 ③児童が考え議論する道徳	4 全ての教員が、道徳の時間の指導を改善した		4 いじめ・不登校の出現回数昨年度比2割以上減少							
				3 8割の教員が、道徳の時間の指導を改善した		3 いじめ・不登校の出現回数昨年度比1割以上減少							
				2 7割の教員が、道徳の時間の指導を改善した		2 いじめ・不登校の出現回数昨年度比変化なし							
				1 6割の教員が、道徳の時間の指導を改善した		1 いじめ・不登校の出現回数昨年度比増加							
			①学校図書館の利用(週1回) ②読書旬間の実施(年3回) ③人権教育を推進する図書購入	4 全ての学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		4 8割の児童が年間20冊以上の本を借りた							
				3 8割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		3 7割の児童が年間20冊以上の本を借りた							
				2 7割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		2 6割の児童が年間20冊以上の本を借りた							
				1 6割の学級が、週1回以上学校図書館を利用した。		1 年間20冊以上の本を借りた児童が6割未満							
健やかな体	学校全体として、組織的・計画的に、健康を保持し、自ら体力を高める態度を育みます	運動能力テストの結果を基に作成する体力向上プランに基づき、系統的な指導を進める。 日常的な運動習慣の確立を図り、健康な生活を目指す。 安全教育を系統的に進め、自分の命を自分で守る力を育む。	①体力向上プラン(9月改訂) ②コロナ禍でも可能な運動の推進 ③運動週間(年3回) ④本領発揮プログラムの活用	4 全教員が体力向上プランを活用した指導を行った		4 調査結果が昨年比平均ポイントから+5ポイント以上							
			3 8割以上の教員がプランを活用した指導を行った		3 調査結果が昨年比 +5ポイント								
			2 7割以上の教員がプランを活用した指導を行った		2 調査結果が昨年比 -5ポイント以内								
			1 7割未満の教員がプランを活用した指導を行った		1 調査結果が昨年比 -5ポイント未満								
			①元気アップカードの活用 ②家庭への啓発活動(毎月) ③学校保健委員会(年1回)	4 全教員が元気アップカードを活用した指導を行った		4 9割以上の児童が目標を達成している							
				3 8割以上の教員が元気アップカードを活用した指導を行った		3 8割以上の児童が目標を達成している							
				2 7割以上の教員が元気アップカードを活用した指導を行った		2 7割以上の児童が目標を達成している							
				1 7割未満の教員が元気アップカードを活用した指導を行った		1 7割未満の児童が目標を達成している							
			①安全教育全体計画改訂(8月・2月) ②避難訓練の改善(年11回) ③安全指導日の指導(年11回)	4 全ての教員が、安全指導を計画的に行った		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上							
				3 8割の教員が、安全指導を計画的に行った		3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上							
				2 7割の教員が、安全指導を計画的に行った		2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上							
				1 6割の教員が、安全指導を計画的に行った		1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下							
輝く未来	学校全体として組織的・計画的に、将来を見つめ社会を担う力を育てます	話し合い活動の指導を計画的に進め、自分たちの問題を自力で解決する力を育む。 教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。 保護者や地域と連携し、行事活動を充実させる。	①学級会活動(年10回以上) ②課題解決型学習の重視 ③タブレットPCの活用	4 全ての学級担任が、学級会活動を10回以上行った		4 全ての学級で、児童間のトラブルの出現が減少する							
			3 8割以上の学級担任が、学級会活動を10回以上行った		3 8割以上の学級で、児童間のトラブルの出現が減少する								
			2 7割以上の学級担任が、学級会活動を10回以上行った		2 7割以上の学級で、児童間のトラブルの出現が減少する								
			1 7割未満の学級担任が、学級会活動を10回以上行った		1 児童間のトラブルの出現が減少した学年が7割以下								
			①各学年で外部人材を活用した授業を計画 ②コロナ禍においても実現可能な交流プログラムの作成	4 全学年の教員が交流体験を実施した		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上							
				3 8割以上未達の学年・教員が交流体験を実施した		3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上							
				2 7割以上の学年・教員が交流体験を実施した		2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上							
				1 7割未満の学年・教員が交流体験を実施した		1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下							
			①PTAや地域と連携して運動会・学習発表会・研究発表会を行う。 ②PTAや地域と連携し安全見守り活動の強化を行う。	4 PTAや地域と年4回以上の連携ができた。		4 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価8割以上							
				3 PTAや地域と年3回以上の連携ができた。		3 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価7割以上							
				2 PTAや地域と年2回以上の連携ができた。		2 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以上							
				1 PTAや地域との連携は年2回以下だった。		1 保護者による学校評価(関係項目)肯定的評価6割以下							